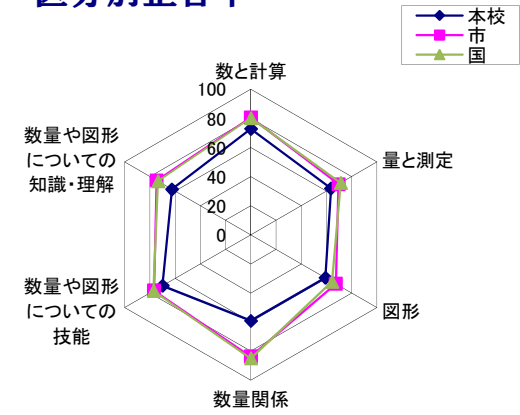


宇都宮市立上河内東小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

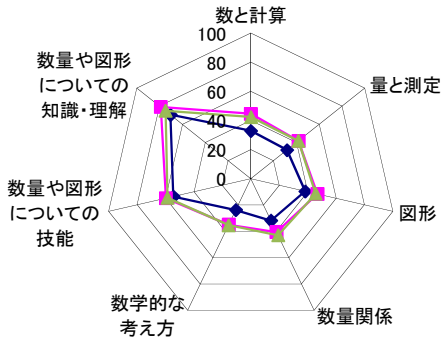
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	72.7	80.7	80.1
	量と測定	63.6	69.6	71.3
	図形	59.1	67.4	64.5
	数量関係	59.1	83.7	84.9
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	70.1	76.8	77.2
	数量や図形についての知識・理解	62.6	74.8	73.6



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	33.0	44.6	42.4
	量と測定	31.8	41.8	41.7
	図形	38.3	46.8	45.6
	数量関係	31.8	40.6	43.0
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	23.7	34.9	35.3
	数量や図形についての技能	54.5	59.8	58.7
	数量や図形についての知識・理解	70.5	79.1	74.9



★算数に関する質問紙調査の状況

- 算数に関する質問において、ほとんどの回答について、肯定的な回答の割合は全国平均を上回っている。
○ 「算数の勉強は大切」「算数の学習は将来社会に出たときに役に立つと思う」の肯定的な回答は95%を超えている。
● 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。」の設問の回答率は、全国平均よりは高いが、他の設問より比較的低くなっている。

★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	算数A・Bともに領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。 ○ 異分母の分数の減法の計算の設問の平均正答率が81.8%で、全国平均を上回った。 ● 概数にして計算したり、概数を用いた見積りの結果を基に判断したりする設問の正答率が低く、概数について課題が見られる。	・四捨五入や切り上げ・切り捨ての考え方ややり方について改めて確認すること、また、概数を用いた見積りの学習などを行い、理解を深めるようにしたい。
量と測定	算数A・Bともに領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。 ○ 所要時間を基に、出発する時刻を求めること、目的に応じた買い物の仕方を選択し、代金を求めることについて、全国平均を上回った。 ● 分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める設問の正答率が低い。	・測定の活動を行う際には、測定前の検討活動と併せて、測定後に結果を振り返る活動を行い、測定結果の妥当性を確かめようとする態度を育むようにする。
図形	算数A・Bともに領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。 ○ 作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ設問で、全国平均を上回った。 ● 分割された二つの図形が等しくなる理由を書く設問、色がついた部分の面積を求める設問の正答率が低い。	・分割された図形などにおいて、既習の考え方を使って応用しながら解答を求めることに課題が見られる。図形の面積の学習では、基本的な公式を押さえるとともに、面積を2等分する考えなどを使うことで分割された部分の面積を求められることも指導していく必要がある。
数量関係	算数A・Bともに領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。 ○ 目的に応じた買い物の仕方を選択し、代金を求める設問で、全国平均を上回った。 ● 買い物の場面で、商品を増量したり値段を割り引いたりしたときの設問の正答率が低い。	・基準量、比較量、割合の関係を正しくとらえられるようにするために、乗除の関係を数直線に表して式を決定する学習をていねいに指導していくことを繰り返していく。